

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和2年9月10日
発信課	障害福祉課
担当者	片岡
連絡先	電話 25-6476
	FAX 24-7007
	E-mail syougai fukusi@city.asahikawa.lg.jp

分類	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	令和2年9月20日 ~ 令和2年9月21日
発表項目 (行事名)	『「農福連携促進事業委託業務」ノウフクマルシェ in 旭川』の開催について
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>【開催日時・場所】 令和2年9月20日(日)～令和2年9月21日(月) 10時～16時(商品がなくなり次第終了) アッシュアトリウム(旭川市1条通7丁目)</p> <p>【内容】 障がい者の工賃向上を図るため、障害福祉サービス事業所の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む障害福祉サービス事業所の商品認知度や販売技術向上を目的とした当該事業所の生産物及び加工品の販売を行うイベントを開催する。 また、同会場においてパラスポーツの紹介及び競技のデモンストレーションを行う。</p> <p>【主催】 農福連携促進事業委託業務受託コンソーシアム 代表 北のめぐみ愛食フェア実行連絡会</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (イベントのチラシ、事業スキームの説明資料)
報道(取材)に当たってのお願い	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着用等の感染症対策に可能な限り御協力ください。
備考	

農福連携マルシェ 2020

ノウフクマルシェ

2020年 9月20日(日)・21日(月)

開店 10:00 閉店 16:00 (商品が無くなり次第終了)

開催場所：旭川市1条通7丁目旭川アッシュアトリウム1Fフロア

おねがい：新型コロナウイルス感染防止のためご来場の際はマスクの着用をお願いします。

「農業」と「福祉」の連携の取り組みは、障がい者が農業分野で活躍することを通じ
自信や生きがいを持って社会参加を実現していく取り組みです。

農福連携に取り組むことで、障がい者の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、
担い手不足や高齢化が進む農業分野において新たな働き手につながる可能性があります。

また農福連携は新しい事業や地域コミュニティーを育みその可能性の幅を広げます。

近年全国各地において、様々な形での取り組みが行われており農福連携は確実に広がりを見せています。



主催：北海道

後援：旭川市

協力：旭川パラスポーツ協議会

運営事務局 「農福連携促進事業委託業務」受託コンソーシアム
北のめぐみ愛食フェア実行連絡会 分室

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目カミヤマビル 北農会気付 TEL・FAX011-251-3325

ホームページ：<http://hokkaido-noufuku.com/>

同時開催：かたるべの森 美術展・パラスポーツ展示

農福連携推進事業の骨子

《事業主体》 北海道庁（保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課 社会参加グループ）の委託を受けて進めています

《事業目的》 農業現場に障がい者が就労したり、農業に取り組むを福祉事業所を支援する取り組みです

●障がいのある方の工賃（賃金）向上を図るため、障がい者就労施設等の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催します。

《事業内容》 農福連携による商品の販売機会の創出と農業における障がい者の就労（雇用）をスムーズに行うためのサポートを行います

- ①農福連携マルシェの開催：農業に取り組む障がい者就労施設等の商品認知度や販売技術の向上などを行うため、農福連携の生産物や加工品等の販売イベントを開催します。
- ②農福連携マッチング支援：農業生産者と障がい者就労施設等をつなぐため、コーディネーターによる農業生産者と障がい者就労施設等の農作業請負（施設外就労）のマッチングを支援します。
- ③農業の専門家派遣：農業に関する十分なノウハウを有していない障がい者就労施設等の農業技術の向上を図るため、農業の専門家の派遣等による農業技術の指導・助言を実施します。

①農福連携マルシェの開催

札幌、旭川、帯広、函館の道内4か所にて、農福連携による農産物や農産加工品等を販売するマルシェを開催します。

開催地	開催予定日
旭川アッシュアトリウム	9月20日(土), 21日(日)
イトーヨーカドー帯広店	10月10日(土), 11日(日)
函館蔦屋書店	10月24日(土), 25日(日)
札幌駅前チカホ北3条広場	11月19日(木), 20日(金)

◆マルシェ出店を通じて、食品表示のノウハウや出店ノウハウについてサポート

出店事業所が地域の核となり周辺事業所にノウハウなどの情報提供を行えるようになることで、地方でマルシェが継続できる体制の構築を目指します。

◆事業所の紹介パネルや作品展示、パラスポーツ紹介展示を実施します。

市民の皆さまに広く障がい理解を進める機会となることを期待しています。

◆多方面に対しての生産物の紹介と販売の機会を作り出すために商談会（札幌会場）を実施します。

新型コロナ感染症対策

販売ブース間を広く取り、販売者はマスク・手袋の着用、消毒用品の設置、試食の禁止とすることで対応いたします。また、状況に応じて販売代行の形態にすることで福祉事業所側のリスク対策といたします。

②農福連携マッチング支援

選果施設等を持つJAや農業者と福祉事業所をつなぎ、障がい者就労の実現を目指します。

- ◆農福連携勉強会
JA職員や農業者、福祉事業者を対象としたセミナーを開催いたします。
- ◆農場施設研修会
農福連携を実践している農場を訪問します
これらを通じて農福連携についての啓蒙を図ると共に農業者と福祉事業者が知り合う機会とします。

- ◆マッチング支援
農業、福祉事業者双方にヒアリングを行い、仕事内容や時期、仕事量などについて基礎情報の整理を行います。
※特に農業側としてはJAを主な対象として進めて参ります。

2019年度事業で実施した、JAに対する農福連携の意識調査の中では、複数のJAから『農福連携に興味がある』とご回答いただきました。

農業・福祉事業者相互の施設見学を行うことで具体的な仕事内容や課題点などについて意識の共有を図り、障がい者就労の具体化を進めてまいります。

- ◆畜産業界に対する農福連携基礎調査
畜産業は年間を通じて平均的に仕事量があり、通年就労の可能性が期待されます。

オホーツク・根釧地区の酪畜業者ならびに福祉事業者に対して、現状の認識、可能な作業種（ニーズ）、今後の意向などに関する意識調査を実施し、マッチングのための基礎情報といたします。

③農業の専門家派遣

農業技術に対してお困りの福祉事業者に対し、農業改良普及員OBや現役農業者を派遣し技術指導いたします。

- ◆専門家派遣
新規作物への取り組みや、既存作物の収量増加に資する相談・アドバイス等を専門家派遣の形式で実施いたします。

- ◆オンライン相談
新型コロナウイルス感染対策として専門家が来所してのアドバイスを希望しない場合は、オンライン方式での相談にも対応いたします。
※ホームページにて受付窓口を準備

- ◆教材コンテンツ
福祉事業者が取り組みやすい栽培品目について栽培のポイントを解説した動画コンテンツを作成し、ナイスハートネットの動画コーナーにて公開いたします。

- ① 病害虫防除の基礎
 - ・動噴による防除方法
 - ・劇薬を使用しない土壌殺菌方法
- ② トラ豆の栽培方法
 - ・圃場の準備と播種
 - ・手竹の立て方
 - ・収穫と調整
- ③ ブルーベリーの剪定作業
 - ・選定方法の基礎